

Title	ベンチャー・キャピタルの投資決定における投資選別基準の適用が投資パフォーマンスに与える影響について
Sub Title	
Author	長坂, 泰治(Nagasaka, Taiji) 岡田, 正大
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2005
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2005年度経営学 第2071号 不可
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002005-2071

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文要旨

所属ゼミ	岡田正大研究室	学籍番号	80430716	氏名	長坂泰治
(論文題名)					
ベンチャー・キャピタルの投資決定における投資選別基準の適用が投資パフォーマンスに与える影響について					
(内容の要旨)					
<p>昨今、日本経済活性化のためにベンチャー企業の育成が重要視されベンチャー・キャピタル投資も活発化してきたが、そのパフォーマンスは低く、年間投資額は先進国の中で最も低い水準である。その投資額を増加させ、日本経済を活性化させるためには、投資パフォーマンスを向上が必要である。</p> <p>投資の成功確率を向上させるためには、投資プロセスの中でも特に、「投資決定前の投資案件を選別」の精度向上が必要である。しかし成功するベンチャー企業を選別する能力は直感と分析能力を組み合わせた洗練された能力であり、この能力は科学より芸術に近い能力であると言われており、十分解明されていない。本研究の意義は、ベンチャー・キャピタルが「成功するベンチャー企業」を選別する能力を解明する事により、投資成功の確率を向上させ、投資パフォーマンスの向上に寄与する事である。</p> <p>本研究の結果、日本で高いパフォーマンスを上げたベンチャー・キャピタルが重視している投資選別基準は大項目では、マネジメントチーム、市場、製品・サービス、ファイナンスという順であった。マネジメントチームで、特にリスク対応力と実務能力を非常に重視していた。また市場では、特に「競争の程度」を非常に重視していた。製品・サービスでは、低いパフォーマンスグループとの差異はあまり見られなかった。ファイナンスは最も重視されていなかったが、「IPO可能性」、「リターン」、「投資の流動化」、「ポートフォリオ分散効果」という観点をより重視していた。また米国では「信頼できるネットワークからの紹介」、「マネジメントの経験」という基準が重視されたが、それに参加している優秀な経営者が多く、そのネットワークが既に充実おり成功の信頼性が高いため重視されているのであろう。</p> <p>しかし投資選別基準以外にも投資パフォーマンスに影響を与える理由は存在する。それは日米における良質な案件の数や投資金額の違い、投資担当者の評価の違い、ベンチャー・キャピタルに関する情報発信媒体の不在という理由であった。</p> <p>このように日米の投資パフォーマンスの差異は、投資選別基準の適用における差異、またその背景にある投資ネットワーク、経営者の流動化、ベンチャー・キャピタリストの意識・スキルといった様々な観点により存在するのである。</p>					